



ジャネル・ヒメズ

6回目の日本ですが、びっくりすることがまだまだあります。例えば、4月のお花見レガッタでのことです。仕事仲間のチームで参加し、私はメンバー唯一の女性でした。そのレースの後、バーベキューをしました。その時、風が強かったので、食物が焼き網から地面に落ちてしまいました。私は「あーあ、残念…」とさびしく言いました。でも、男性仲間が「大丈夫！」と食べようとなりました。(私は「食べちゃダメー！」と叫んだけど…)そして、「3秒まで平気ですよ」と答えました。その答えを聞いて、私は笑いました。「日本は3秒ですか？アメリカでは5秒ですよ。ああ、世界の男性はみな同じね。」と…。

そういう経験はとて面白いと思います。本や日本語教室から歴史・言葉など勉強できるけど、そういう小さな文化の細部の違いは本から全然習えません。インターネットでも色々な翻訳ウェブサイトがありますが、そのプログラムで文化を翻訳することはできません。人間のコミュニケーションには、同じ言葉話すことだけじゃなくて、小さい文化の細部を理解することが必要だと思います。だから、3秒ルールを教えてくださいありがとうございました。この経験を無意味と思う人もいるかもしれませんが、私にとって、この経験はとて大切です。だって、世界の男性はみな同じでしょう？文化や伝統は違うけど、同じ人間です。

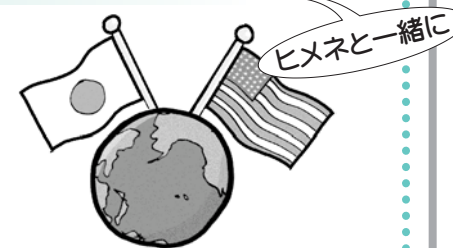


文化講座 ~アメリカの食文化:アメリカのふるさとの料理を食べよう!~ その③

国際交流員ヒメズ(アメリカ出身)と雲南市のALTとで、アメリカ料理を食べながら、アメリカの食文化などを楽しく学びましょう!

- とき 6月25日(日) 14:00~16:00
- ところ チェリヴァホール3階 中会議室
- 参加費 500円~1,000円くらい(実費)

お申し込み・お問い合わせは、雲南市国際交流室 ☎0854-40-1014



いきいき雲南

子供の学力の低下が心配されています。こうした状況を受けて、文科科学省は、ここ数年の「ゆとり教育」の見直しを唱えています。しかしながら学校の指導のもとに勉学に励んできた子供たちしてみれば、いきなり「君たちは教育力が低い」と言われても戸惑うしかありません。

「ゆとり教育」の基本的な考え方は1960年代に米国で生まれ、その後、米国はかつての日本の教育システムを参考に建て直しを図ったと言われています。逆に日本は、「米国のゆとり教育」に学ぶ路線を歩み始めました。そして、今、それが見直されようとしています。

戦後60年が経過し、この間の教育の在り方が、良きにつけ悪きにつけ今の日本の根底にあるのは言うまでもありません。

昔も今もこれからも、知育、徳育、体育は教育の基本でありましょう。戦後の学校教育で、これらのバランスが保たれ、実践されてきたのが改められて問われる必要があると思います。

子供たちが、時代の波に翻弄されてはなりません。

(雲南市長 速水雄一)



4月23日・上久野船屋台花傘神事にて

わが家のホープ



6月で満1歳おめでとう

多根英志さん・希和子さんのお子さん



なつき
名月葵ちゃん(木次町里方)
平成17年6月29日生まれ
マルマルと元気いっぱい
のナ・チ・キちゃん、
(=^-)= 低音ボイス魅力的だよ~!

中村満明さん・裕美子さんのお子さん



みすず
美涼ちゃん(三刀屋町乙加宮)
平成17年6月9日生まれ
いつも笑顔のみすずちゃん(0) 元気で優しい子に育ってね!

松浦光夫さん・好子さんのお子さん



めぐみ
萌ちゃん(大東町大東下分)
平成17年6月13日生まれ
1歳おめでとう。お姉ちゃん達と仲良く元気に遊ぼう☆

7月で満1歳(平成17年7月生まれ)になるお子さんを募集!

写真にコメント(30字程度)を添え、郵送またはメールで6月6日(火)までに情報政策課へお願いします。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1101
E-Mail: youhouseisaku@city.uman.shimane.jp

みなさんよろしくお願ひつまつ



Q①応募のきっかけは?

本物の自然の中で、自然と折り合いをつけるのがら暮らしの、どうということなのか?という疑問を抱いたのがきっかけです。

Q②ズバリ抱負を!

地域の方々と同じ様に汗を流し、生きるための基本的な営み、喜びやつらさを

緑のふるさと協力隊着任

「緑のふるさと協力隊」とはNPO法人「地球緑化センター」が行っている事業の一つで、各自治体・団体の受入れにより山村で1年間生活し、農林業などの手伝いなど様々な活動を行います。掛合町では、平成12年度から、毎年協力隊を受け入れ、平成18年度は新たな隊員として山崎直子さん(埼玉県日高市)が着任されました。

ここでは、山崎さんに抱負など聞いてみました。

Q③みなさんへ一言!

私の思い描いていた山あいの土地、空と山と川と田畑と人々。そんなイメージにぴったりの雲南市に來れて、本当にラッキーだと思います。

背は低いです、体力と声の大きさには自信がありますので、全力で雲南市を楽しみたいと思っています。みなさんどうぞよろしくお願ひします。



絵が得意で、読書、散歩が趣味と言う山崎さん。市内での農林業を中心に活動予定です。

広域路線バス(吉田大東線)有料広告募集のお知らせ

市内を運行しています広域路線バス(吉田大東線)2台の車両側面及び後部への有料広告掲出の募集をします。応募された広告は、審査会において広告として適正であるかどうか内容等を審査のうえ掲出の可否を決定します。尚、掲出可多数の場合は抽選となります。

広告掲出料金は、バス1台当りバス側面(規格40cm×100cm)が9,450円(1年間片側1枚当り)、バス後下部(規格50cm×80cm)が15,750円(1年間1枚)です。第1次募集期間は平成18年6月1日(同6月15日)です。

詳しい内容及び申し込みについては政策企画部政策推進課(☎0854-40-1101)までお問い合わせ下さい。